



どくしょ ちから 読書で力がそだつってホント！？

よ 読むのがニガテでもハマる本、集めました！

以前の通信で「本を読むとたくさんの力がそだつ」というお話をしたのをおぼえていますか？でも、「本を読むのがちょっとニガテ」「何を読んだらいいかわからない」「長い文章はあきちゃう・・・」という人もいるのではないかと思います。

実は、学校図書館には「読むのが苦手な人でも、ゲームみたいに夢中になれる本」がたくさん眠っています！1回読み始めたら「次も読みたい！」となっちゃうような、おもしろい本を学年ごとに集めました。

読書で頭のトレーニングをしながら、ワクワクする冒険や事件の世界へ飛び込んでみましょう。



1年

『おまえ うまそうだな』

・おなかをすかせた大きなきょうりゅう（ティラノサウルス）と、生まれたばかりの小さなきょうりゅうのお話。ハラハラする場面と心があたたかくなる場面があって、「このあとどうなっちゃうの！？」と夢中でページをめくりたくなりますよ。

『おいしいのぼうけん』

・先生においしいに入れられちゃった二人の男の子。暗い押し入れの奥には、おそろしい「ねずみばあさん」の世界がひろがっていて・・・！ハラハラドキドキの冒険から自がはなせません。



2年

『エルマーのぼうけん』

・どうぶつ島にとらわれた「子どもの竜」を助けるため、男の子のエルマーが旅に出ます！輪ゴムやキャンディなど、リュックに入れた道具を使ってピンチをのりこえるアイデアがおもしろくてワクワクしますよ。

『あらしのよるに』

・まっくらな小屋の中で出会ったヤギとオオカミ。おたがいの顔が見えないまま、友だちになっちゃった！「明日、明るいところで会ったらどうなっちゃうの？」とハラハラして、続きが読みたくなっちゃうお話です。



3年

『キャベたまだんてい』シリーズ

・キャベツから生まれた探偵が、事件をバシッと解決！ダジャレとギャグが盛りだくさんで、ギャハハと笑いながら一気に読めちゃいますよ。

『ともだちや』

・「1時間100円で友だちになってあげる」というキツネのお話。最初は商売だったのに、本物の友だちってなんだろう？と考えさせられます。クスッと笑えてサクッと読める一冊です。



4年

『チョコレート工場の秘密』

・なぞに包まれた世界一のチョコレート工場へ招待された子どもたち。工場の中にはヘンテコな部屋やしかけがいっぱいで、ワクワクとスリルが止まりません！映画みたいに脳内イメージが広がりますよ。『カラフル』

・死んだはずの「ボク」が、見知らぬ中学生の体に「ホームステイ」して、やり直すお話。ミステリーみたいな謎解きの部分と、笑えてちょっと泣けるドラマがあって、本が苦手な人でも一気に引き込まれますよ。



5年

『学校の怪談』シリーズ

・1つのお話が数ページで終わるから、とっても読みやすい！「ゾクゾクして怖い・・・でも続きが気になる！」というドキドキ感で、ページをめくる手が止まらなくなりますよ。

『ツナグ』

・一生に一度だけ、死んだ人と会わせてくれる案内人「ツナグ」のお話。「もし自分だったらだれに会いたいか？」と考えながら読むことができます。短いお話が集まっているので読みやすく、最後には大きな感動が待っていますよ。



6年

『パスワード』シリーズ

・小学生たちが暗号解読やインターネットを使って、事件の謎を解き明かす！クイズや暗号パズルを解く感覚で読めるので、小説が苦手な人でも読みやすいですよ。

『ブレイブ・ストーリー』

・自分の運命を変えるため、剣と魔法の異世界「幻界（ヴィジョン）」へ旅立つ少年の冒険物語。圧倒的なスケールとハラハラするバトルシーンで、分厚い本なのに時間を忘れて夢中になれちゃいます。

がっこうとしょうかん さが
ぜひ学校図書館で探してみてください☆